

発音

1. 語順を間違えたらどんなに発音が良くても相手に通じません。
2. 辞書を引いたら意味と発音とアクセントを一緒に覚えるのがコツです。
3. 英語らしい発音を覚えるにはフォニックスが役立ちます。

日本には発音が良くないと自分の英語は通じないと信じている人がいます。もちろん英語らしい発音は大切です。でももっと大事なのが語順と強弱アクセントです。話し言葉としての英語では、語順を間違えたらどんなに発音が良くても相手に通じません。日本語には助詞「てにをは」という便利なものがあるので、主語や動詞の位置は固定していません。助詞が主語や目的語を表す印となるので、助詞に高低アクセントを置いて話せばどんな語順でも相手に通じます。冒頭の文を例にとると、次の複数の文はすべて日本語として通じる文です。太字は高低アクセントで音を高くする部分です。

日本には**は**発音が良くないと自分の英語**は**通じないと信じている人**が**います。
発音**が**良くないと自分の英語**は**通じないと信じている人**が**日本には**は**います。
日本には**は**自分の英語**は**発音が良くないと通じないと信じている人**が**います。
自分の英語**は**発音**が**良くないと通じないと信じている人**が**日本には**は**います。

ところが英語にはこうした柔軟性がありません。助詞がないので、語順で主語や目的語を表します。そのためSVOの基本形からはずれると、相手は英語